

企業情報管理者必見!



# SafetyAnswer

セイフティ・アンサー

## Enterprise Protection

# メールアドレス漏えい対策の決定打!

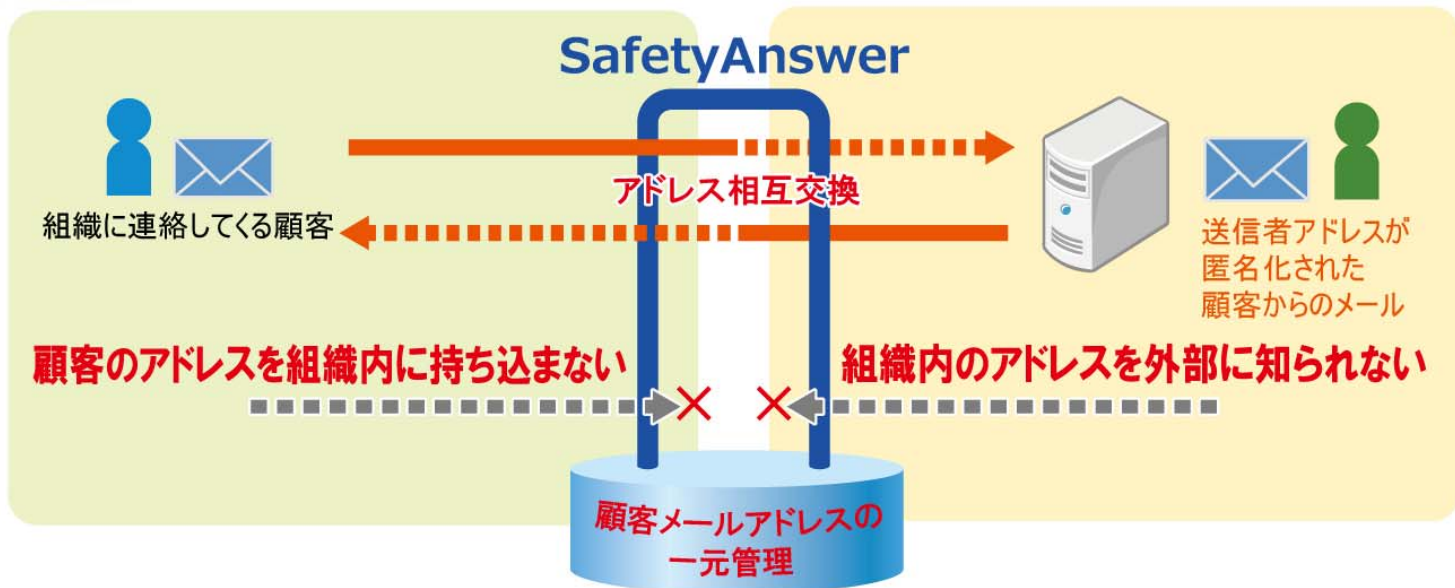
## 顧客のアドレスを組織内に持ち込まない 個人情報が存在しないので漏えいしない!

…メールアドレスの匿名化で実現!

SafetyAnswerを使って組織の内外でメール交換をすることで、外部のメールアドレスを組織の内部に持ち込むことがなくなります。

その結果、持ち出す顧客のメールアドレスもなくなり、情報漏えいの心配もありません。

また、外部とは完全に分離したメール環境を構築すれば、仮に担当者のメールアドレスが盗まれたとしても、組織の外部からは直接メールを送り付ける手段がないので安心です。



### 組織内に散在していた顧客のメールアドレスを一元管理

守るべき情報を一か所にまとめることで、重点的にセキュリティ対策が必要となるポイントを局所化してシステムでの対応を容易にします。(データベースを外部委託するなどの運用も可能)

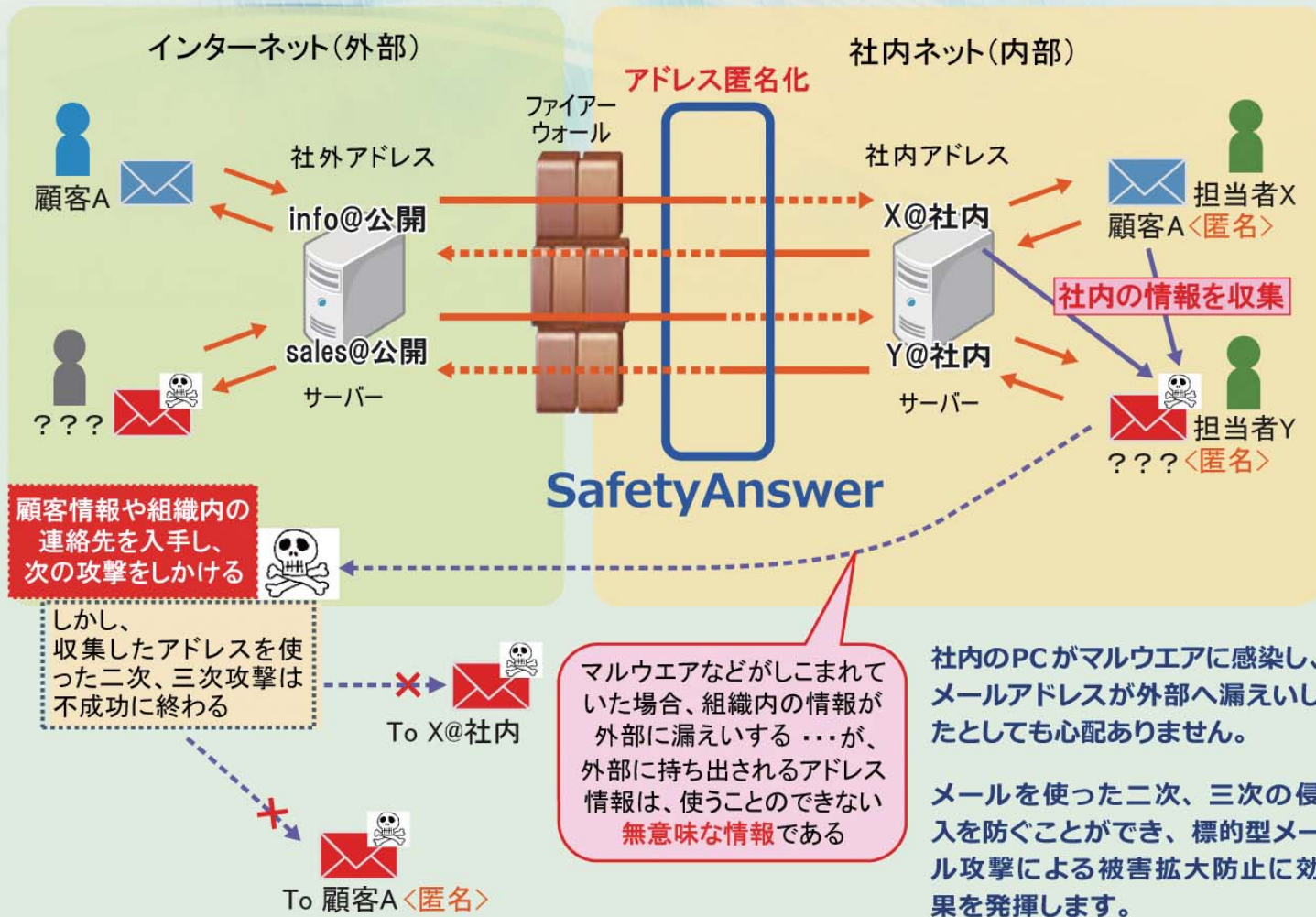
### コンプライアンスに委ねられてきた個人情報の保護施策をシステム化

顧客のメールアドレスに限れば、組織内から持ち出す手段がなくなります。書面によるコンプライアンス遵守は当たり前ですが、漏えい事故はなりません。SafetyAnswerは、メールアドレス匿名化の独自技術を情報システムに組み込むことで、大きな効果を発揮します。

Enterprise Protectionは、大きな企業、行政機関など、ファイアーウォールで守られたネットワークで社内システムを運営している企業組織向けです。

# SafetyAnswer は社内と社外をメールアドレスで分離 標的型メール攻撃の被害拡大を回避する!

ファイアーウォールの内部に、社内ネットだけで利用できるドメインを使用したメールシステムを運用します。外部から届くメールは、SafetyAnswer がアドレスを匿名化して、内部ドメインの担当者へ送信されます。担当者が自分専用に匿名化された顧客のアドレスへ返信する場合は、SafetyAnswer が元のメールアドレスに戻し、正確に顧客に届けられます。



- SafetyAnswer は、送信者（顧客）のメールアドレスを匿名化して受信することができます。受け取るメールアドレスを匿名化することで顧客情報の漏えい防止が可能となります。
- 匿名化されたメールアドレス宛に送信すると、SafetyAnswer によってメールの宛先が元のメールアドレスに戻され、正確に送信者（顧客）に届けられます。
- 外部から届くメールアドレスを匿名化することで、社内ネットで受信した担当者は、送信者の**実際のメールアドレスを知らずにメールを受け取り、メールを返信することが可能です。**
- さらに、この送信者の匿名化されたメールアドレスは、受信者個人に専用に割り当てられたメールアドレスであって、**送信者へ返信ができるのはメールを受信した本人に限定されます。**